

午後1時30分開会

○秋谷議長 皆さん、こんにちは。ただいまから全員協議会を開会いたします。

それでは、本日の日程に入ります。

本日は、区政の重要事項として、令和8年度予算案について、執行機関から説明を受けるため、開催させていただきました。

なお、当協議会は公開とし、ライブ中継、映像配信を実施します。また、議事録も後日公開することとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

本日の全員協議会に出席いただく理事者につきましては、昨年と同様、区長、副区長、教育長、条例部長及び財政課長とさせていただきますので、ご了承願います。

欠席届が出ております。西岡議員、体調不調のため欠席ということで届けが出ておりますので、報告させていただきました。

では、本日の進め方ですが、当初予算案の概況について、執行機関から説明を受け、その後、基本的な質疑があれば受けたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○秋谷議長 では、そのようにさせていただきます。

初めに、樋口区長からご挨拶を頂きたいと思います。

○樋口区長 本日は、大変お忙しい中、全員協議会を開催いただきまして、また、区議会議員の皆様方の貴重なお時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

ただいま議長からご案内を頂きました第1回定例会に提出を予定しております令和8年度千代田区各会計予算案につきまして、ご説明申し上げます。

令和8年度予算案は、物価高騰への実効性ある対策を最優先に、予算編成方針に基づき、重点的に取り組む六つのテーマを掲げ、編成しております。予算規模は、一般会計が916億円で、一般会計が900億円を初めて超える規模となりました。予算案を「今日の声を、明日のかたちにする予算」といたしております。

特徴的な事業として、五つほど挙げさせていただきます。一つ目が早期介入による虐待の未然防止を図るため、保健師、看護師による妊娠後期訪問、二つ目が手頃な価格の賃貸住宅供給促進のため、既存ストックを活用したアフォーダブル住宅の供給支援、三つ目が秋葉原を訪れる旅行者の増加を背景に、ごみのポイ捨てに対応するスマートごみ箱の設置・ごみ処分を実施いたします。加えて、四つ目、情報・AI社会における偽情報・誤情報への対応に向けたリテラシー教育の充実、オリジネーター・プロファイル技術の実証、五つ目、医療費助成のPMH（Public Medical Hub）接続に向けたシステム改修、さらに介護情報基盤との連携を通じ、全国医療情報プラットフォームの展開を見据えた取組みも進めてまいります。

そして、大きな課題であります物価高騰対策にも力を尽くしてまいります。区民生活が大きな転換点を迎える中、安心をお届けする施策を進めてまいります。引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

予算案の概況、その他特筆すべき点につきましては、財政課長から説明いたします。よろしくお願いいたします。

○秋谷議長 ありがとうございました。

それでは、令和8年度当初予算案の概況について、執行機関から説明をお願いします。

○前田財政課長 それでは、資料に基づきましてご説明をさせていただきます。

資料でございますが、2種類ご用意をさせていただいております。データで申し上げますと、01が縦判のものとなります。02が横判のものとなっております。

初めに、資料の02をご覧いただいでよろしいでしょうか。横判のものとなります。右下のページでご案内をさせていただきます。

2ページ、お開きを頂ければと存じます。令和8年度予算案でございますけれども、区民の生活の安全・安心と将来への希望を確かなものにするため、実効性を重視した物価対策等を含めて全力で取り組んでまいり所存でございます。また、記載の六つのテーマを重点的に推進してまいりということで挙げさせていただいております。

続きまして、おめくりいただき、ページを進んでいただきまして、3ページ、ご覧になっていただければと存じます。予算規模でございます。一般会計でございますけれども、916億1,057万円、前年度対比162億5,752万円、21.6%の増、全会計合計でございますけれども、1,062億1,356万、前年度対比167億6,849万円、18.7%の増となりまして、当初予算額といたしましては、過去最大の予算となっております。

続きまして、一般会計の款別内訳でありましたり、主な増減につきましては、資料1のファイル、01のファイルにてご案内をさせていただければと存じます。資料の切替え、恐縮でございますが、縦判の資料をご用意いただければと存じます。

こちらのページにつきましても、下のところにページ番号を振ってございますので、ご案内をさせていただきます。2ページ、ご覧になっていただいでよろしいでしょうか。

第1款歳入の大きな柱となります特別区税について申し上げます。特別区民税でございます。229億8,000万円余を計上させていただいております。課税標準額の増などによりまして、前年度対比22億2,900万円、10.7%の増を見込んでございます。

続きまして、特別区たばこ税でございます。29億円余、売渡し本数の減などによりまして、前年度対比5,300万円、1.8%の減を見込んでおるところでございます。

第3款利子割交付金でございます。2億7,000万円を計上させていただいております。市場の金融動向を踏まえまして、前年度対比1億2,000万円、80%の増を見込んでおるところでございます。

続きまして、第6款地方消費税交付金でございます。137億円を計上させていただいております。暦日要因等ございまして、本来、令和7年度に交付される交付金が令和8年度に繰り越されることによりまして、そうした増があることから、前年度対比21億円、18.1%の増を見込んでおるところでございます。

続きまして、第10款特別交付金でございます。50億7,000万円余を計上させていただいております。ほぼ横ばいとなりますけれども、前年度対比4,700万円、0.9%の減を見込んでおるところでございます。

第17款寄附金でございます。20億7,000万円余を計上させていただいております。ふるさと納税の増などによりまして、前年度対比3億9,200万円、23.3%の増を見込んでおるところでございます。

第18款繰越金でございます。あ、すみません、繰入金でございます。174億3,000万円余を計上させていただいております。四番町公共施設、また、神田錦町三丁目

施設の整備の増などございまして、前年度対比98億6,400万円、130.4%の増を見込んでおるところでございます。

第19款繰越金でございます。5億円を計上させていただいております。こちらは、近年の区の実質収支額の状況等を勘案いたしまして、前年度対比4億円、400%の増を見込んでおるところでございます。

以上が歳入の特徴的な項目というところでございます。

続きまして、3ページ、進んでいただければと存じます。一般会計の目的別の歳出予算でございます。こちら、また次のページに進んでいただきますと、4ページでございますけれども、こちらの一覧表にて特徴的なところをご案内させていただければと存じます。

第2款子ども費でございます。前年度対比48億9,300万円、24.9%の増を見込んでございます。四番町公共施設整備が22億7,400万円、ICT学校教育システムの推進が12億9,400万円、こうしたところが増の要因となっております。

続きまして、第3款保健福祉費でございます。前年度対比34億3,200万円、36.1%の増を見込んでございます。こちら、施設整備でございますが、神田錦町三丁目の施設整備32億3,500万円の増となっているところでございます。

第4款地域振興費でございます。ちよだアーツスクエア改修整備7億6,400万、内幸町ホール改修整備5億4,400万円と、令和7年度の予算から減要因がございますけれども、四番町公共施設整備が11億2,800万円、新スポーツセンターの整備が6億300万円の増などございまして、前年度対比といたしまして4億7,400万、5.6%の増を見込んでいるところでございます。

第5款環境まちづくり費でございます。前年度対比40億6,700万円、39%の増を見込んでございます。こちら、四番町公共施設整備が18億8,100万円、市街地再開発事業の推進が10億5,500万円、それから、公園・児童遊園の整備が4億9,900万円の増となったものでございます。

第6款総務費でございます。前年度対比といたしまして18億900万円、21.2%の増を見込んでございます。全庁LANのリプレース、こちらが8億200万円、四番町公共施設整備が6億3,700万円、旧軽井沢少年自然の家の解体が2億4,400万円の増となっているものでございます。

以上が目的別歳出の特徴的な項目でございます。

続きまして、5ページ、お聞きいただいでよろしいでしょうか。次のところに進んでいただければと存じます。こちら、一般会計の歳出予算でございますが、性質別におまとめさせていただいたものとなっております。

進んでいただきまして、6ページの一覧表にて特徴的なところをこちらについてもご案内させていただきます。

初めに、義務的経費でございます。前年度対比17億9,400万円、7.3%の増を見込んでございます。そのうち、人件費につきまして、職員数の増や定年引上げによる退職手当の増などによりまして、前年度対比14億8,700万円、10%の増を見込んでいるところでございます。

続いて、一般行政費でございます。前年度対比58億5,600万円、14.0%の増を見込んでございます。そのうち、物件費につきまして、ICT学校教育システムの推進が

12億7,400万円、全庁LANリプレースが8億200万円の増となっており、前年度対比35億9,200万円、13.8%の増を見込んでいるところでございます。

投資的経費でございます。前年度対比85億8,400万円、126.9%の増を見込んでございます。施設整備、これまで申し上げてきましたけれども、のどころの増が主なところとなっております。

その他の金額及び増減理由などにつきましては、5ページ、6ページ、ご覧になっていただければというふうに存じます。

続きまして、資料02、横判のものに進みまして、そちらにてご案内をさせていただければと存じます。大変恐縮でございますが、データのファイルの切替えのほうをお願いいたします。

まず初めの1ページ、ご覧になっていただいてよろしいでしょうか。目次のところでございます。

大きく3項目にて構成をしております。項番1でございますけれども、当初予算（案）の概括を記載させていただいております。項番の二つ目は重点的に取り組む施策6テーマを、項番の三つ目は新規の施設・公園整備に関する取組みを記載させていただいております。ボリュームがございますので、大変恐縮でございますが、ポイントを絞ってのご案内とさせていただきます。

4ページ、お聞きいただいてよろしいでしょうか。物価高騰対策につきまして掲載をさせていただきます。

令和8年度当初予算といたしまして、35億3,833万円となります。事項といたしましては記載のとおりとなりますけれども、新規、拡充、継続事項、そして、インフレスライド等にも対応していることから、お示しをさせていただいております。この後、各テーマのご説明に入らせていただきます。

まず、子育て・教育の充実について、7ページ、お聞きいただいてよろしいでしょうか。

令和8年度でございますが、こども家庭センターを設置し、事業等を拡充してまいります。具体的には、子ども相談機能の拡充やサポートプランを用いた合同ケース会議、妊娠後期訪問事業等を実施するものでございます。

その中でも、妊娠後期訪問についてご説明をさせていただきます。次の8ページ、ご覧になっていただければと存じます。

全国での虐待による死亡事例をお示ししてございます。0歳児が7割近くを占めておりまして、0歳児の死亡事例でございますが、月齢0か月が5割を超えているという状況でございます。

こうした全国的な傾向を踏まえまして、おめくりいただきまして、9ページでございます。区といたしまして、早期の介入によりまして、虐待の未然防止を図ると。そういうことで、妊娠後期訪問を実施してまいりたいというふうに考えてございます。妊娠後期の全ての家庭を対象に、保健師、看護師が訪問いたしまして、ご不安やお悩みの解決、こちらを支援させていただくものでございます。また、経済的支援といたしまして、1万円相当のギフト券の支給も実施してまいります。

続きまして、12ページ、進んでいただければと存じます。私立学校就学者等支援クーポンについてでございます。私立の小中学生等を対象といたしまして、1人当たり8万円、

年でございますけれども、区立学校の給食費・教材費補助相当分といたしまして、区内の地場産品の基準を満たした店舗や書店、文具店で利用できる電子クーポンを配付するものでございます。

続きまして、福祉の充実に入らせていただきます。14ページ、お進みいただければと存じます。グラフが二つございますが、下のグラフをご覧になっていただければと存じます。

法人規模別の採用活動の取組状況を見ますと、グラフの一番左の部分でございますが、19人以下の部分をお示ししてございます。小規模事業所におきましては、採用手法がハローワーク等に限定されていること、また、グラフの一番右の部分をご覧になっていただければと思っておりますが、採用活動自体を特に行っていない割合が高いと、そういった状況でございます。つきましては、介護サービスの人材不足解消策のうち、特に採用活動、こちらを重点的に支援していくことが重要となるというふうに認識をしております。

15ページ、進んでいただければと思っております。令和8年度でございますけれども、採用活動の経費補助を新設、また、人材紹介手数料補助を拡充してまいるといったものでございます。補助経費等につきましては記載のとおりでございますけれども、安定的かつ継続的な介護サービスの提供体制確保のために、いずれも介護事業所を対象に実施してまいるといったものでございます。

続きまして、19ページまでお進みいただいてよろしいでしょうか。テーマ、地域の活性化と産業振興を推進でございます。こちら、ご覧になっていただきますと、千代田区では、20代から40代が全体の46.2%ということで、こちらを占めている状況でございます。そのうち、単身者でございますが、世論調査によりますと、地域との関わりが乏しい傾向にございますので、一方で、過半数以上の方が地域との関係を強めたいと、そうした意向をお持ちであることが確認できてございます。

続いて、20ページに進んでいただきますと、令和8年度につきましては、こうした若年・ミドル世代単身者が地域に参画するためのきっかけを創出していきたいということで、地域で実施されるイベントへの参加費補助や地方との連携、地域交流型アプリなどの支援を実施してまいります。

続きまして、25ページまでお進みいただければと存じます。持続可能な社会の推進の部分でございます。令和5年時点でございますけれども、区内の賃貸住宅の空き家でございますが、3,760戸、空き家率は15.0%という状況でございます。また、現在、家賃の高騰が続いている状況にあるという状況でございます。住み替えを予定・希望している区民のうち、約6割以上が区内転居を希望、特に夫婦と就学前の子どもがいる世帯では、約8割が区内転居を希望しておられます。つきましては、多様な世帯が安心して住み続けられる環境を整備するために、空き家等の既存ストックを地域資源といたしまして、有効活用を図ってまいります。

次の26ページ、ご覧になっていただければと存じます。具体の取組みの部分でございますけれども、空き家を実態調査により把握してまいるといったところでございます。加えて、空き家のリノベーションや事務所ビルの住宅へのコンバージョンなどの支援によりまして、アフォーダブル住宅の供給を進めてまいります。

続きまして、29ページ目までお進みください。29ページ、安全・安心を実感するま

ちでございます。上のグラフをご覧になっていただければと存じますが、ご案内のとおり、秋葉原を訪問する旅行者は増加してございます。下のグラフでございます。訪日外国人が旅行中に困ったことといたしまして、ごみ箱の少なさを最も挙げられていると、そういった状況でございます。

進んでいただきまして、30ページ、ご覧になっていただければと思います。秋葉原の現状といたしましては、ごみのポイ捨て等によりまして、ごみが散乱している状態がございます。こうした状況にある中で、区といたしましては、地域と連携をしつつ、外国人旅行者へのマナー啓発の強化、そして、ごみ箱の設置を進めていくことが重要と考え、スマートごみ箱の設置とごみ処分、こちらを行ってまいります。具体には、スマートごみ箱を、中央通りを中心に10か所設置してまいります。また、地域、事業者、行政の連携を図ってまいりたいというふうに考えてございます。

続きまして、33ページ、お進みください。スマートな暮らしの実現でございます。こちら、ご案内のとおりの部分もでございますが、現在、SNSの普及、AI技術の進展によりまして、利便性が飛躍的に向上いたしまして、人と人とが容易につながることができるようになってきていると、そういった時代でございます。一方で、フェイクニュースや誤情報の拡散といった課題も顕在している状況でございます。こうしたことから、一人一人が正確な情報を見極める情報リテラシー、それを養うことが重要となってまいることから、令和8年度は、ちよだりテラシー教育、信頼ある情報発信に向けた取組みを推進してまいります。

34ページ、ご覧になっていただければと存じます。ちよだりテラシー教育により、育成を図ってまいります。こちらは、批判的に読み解く力など、7項目につきまして、能力を測定するための検定と、それぞれの項目を伸ばす教材、こちらを開発してまいります。

お進みいただきまして、35ページ、ご覧になっていただければと存じます。信頼ある情報発信に向けた取組みといたしましては、ソーシャルリスニングツールの試行導入、また、情報改ざんが不可能な形で付与する技術、オリジネーター・プロファイルの技術、こちらの実証実験を行ってまいります。

続きまして、最後となりますが、42ページ、お進みください。新規施設・公園整備に関する取組みでございます。来年度中に記載の施設・公園が竣工予定となっております。次ページ以降、イメージ図等をおつけしてございますので、ご確認を頂ければと存じます。

駆け足で恐縮でございますけれども、ご説明は以上でございます。

○秋谷議長 ありがとうございます。

ただいま第1回定例会に提出予定の令和8年度当初予算案の概況について、ご説明いただきました。当初予算案の内容については、定例会中にしっかりと予算審議していただくこととなりますが、基本的な質疑があればお受けいたします。

よろしいでしょうか。小枝議員。

○小枝議員 概括的なところで、1点、2点伺いたいと思います。

大変大規模な予算になって、本当に区民の幸せのための予算もたくさん入っているというのは、今のお話を聞けば分かります。中で、恐らく二分するようなものも入っているんでしょう。その全容が、この1,000億を超える予算に対して、大切なことは、一つは区民が幸せになるということですからけれども、もう一つは職員が疲弊しないということと、

やりがいを持って働けるということだと思っんです。それに当たっては、これ、全体の事業数、予算規模は分かったんですけども、事業数がどのぐらいからどのぐらいになったのか、また詳細はほかでやるとしても、その辺の全容が分かったらいいなと思っました。

それと、皆さんお忙しっと思っるので、まとめて言わせていただくと、職員が疲弊しなっということの前提としてとても大切なことは、やはり区民に選ばれた政治家というんですかね、区長であり議員である方々が責任を持てるということと、かなり時代の変化が激しっということもありますので、物価高騰におっいても、あるいは資材高騰におっいても、機敏な判断や調整が必要になってくる可能性があるということと、判断が硬直化しなっことも大事だと思っんです。それに当たっては、ここが2点目の質問なんですけれども、必要に應じて、やはり区長が出ていって、責任を持って、自分はおっ聞いているから、これについてはおっこうだよという説明をするということがとても大事な時代になってきたなと。そのことが職員にとっても負担を軽減する場合があるのではないかと。そういうふうな見方を私はおっしているんです。この1年間は、新年度はそういう場面が多々あるだろう。つまり、一部のことを思って全体を、何とっいうか、ネガティブに捉えるのではなく、逆もありだと思っているんですね。

ですから、しなやかに区民の幸せのための予算ということをおっ考えていっったときに、責任者が出ていって、おっこういう情報の下に判断してはありますが、またおっおい必要なことは皆さんと共に調整してはいきます、いろいろ意見を聞かせてくださいという判断に立てるかどうかということとはとても大事だというふうには私がおっ思っっているんですけれども、千代田区始まって以来の1,000億規模、一般会計予算で900億を上るという状況の中で、大きな2点についておっ答えください。

○秋谷議長 1点目は事業数ですよ。

○小枝議員 はい。

○秋谷議長 2点目に関して、区長が出ていっておっいうのはどこに出ていくのですか。

○小枝議員 はい。通常とっいうか、予算の執行とっいうのは、細かいことは事務方が全部やっっているわけですよ。で、事務方が全てやっっているけれども……

○秋谷議長 だから、説明責任におっいて、区長が……

○小枝議員 そうそうそうそう。

○秋谷議長 責任を持っておっいうことをおっ伺い……

○小枝議員 そうすることによって……

○秋谷議長 分かりました。

○小枝議員 分かりますか。

○秋谷議長 はい。

○小枝議員 判断ができれば、調整もできるし、変更もできるという、おっいうふうな機敏性を持たないと、この1年間は、あることをもって硬直化するのとはとてもよくない。それは、職員を疲弊するおっいう意味でもよくないおっいう意味で……

○秋谷議長 分かりました。大丈夫です。

○小枝議員 議長、分かりましたか。

○秋谷議長 はい。

○小枝議員 よかったです。

○前田財政課長 まず、1点目のご質問でございます。事業数についてご質問を頂戴して
ございます。総事業数でございますが、805でございます。

○小枝議員 今までは。

○前田財政課長 今までは810と。令和7年度は810となります。

○小枝議員 えっ。減ったの。

○前田財政課長 はい。こちら、事業数につきましては、ほかの事業と一緒にしている
といったようなものもございますので、そうしたところは、また別の機会のところでご案内
をさせていただければというふうに存じます。

○小枝議員 はい。

○前田財政課長 続いて、2点目でございます。説明責任のところでございますが、区と
しては、適切な発信を行えるように、それは区として対応してまいる所存でございますの
で、今頂いたご意見としては受け止めをさせていただければというふうに思います。

○秋谷議長 はい。ありがとうございます。

ほかはよろしいでしょうか。

○はやお議員 細部のところについては、今後、これ、事前審査になってしまうので、概
括的なところだと、まず、先ほどの全体的に1,000億ぐらいになるという予算規模
になると。今後、そのところについて、普通であると、結局は、福祉に資するという順番
からすると、例えば、健康、そして教育、そういう分野において、どのぐらい伸びている
のかというのが分かるように整理していただきたい。何かというと、これだけの予算規模
になってきますと、本来であれば、単年度主義という行政のほうの考え方があると。それ
にもかかわらず、例えば、いけないことじゃないですよ、次世代について予算のすごく枠
が多くなっているというアンバランスさがあった場合、どういうふうにやるのか。つまり、
今後、本来、単年度主義とは何かというのを行政の人たちに言うのは失礼ですけども、
入れた税金をその人たちに受益者負担で返すというのが原則です。それを、今後の、非常
に大切ですけども、予算の在り方について、そこのところをどのように整理するのか。
先ほども、物価高騰に伴って、建材と、そして労務単価が高くなって、箱物はお金がかか
ってくるという中で、これはどういうふうに進めていく、それで、またここを考慮した結
果こうなったというところについて、概括的なところをお答えいただきたい。

○前田財政課長 本日の資料の01を、まず1点目の質問ではご案内をさせていただけれ
ばというふうに思います。4ページ目のところでございますが、歳出予算の目的別歳出と
いうことで、こちら、款別にお示しをさせていただいてございます。こちらの詳細につ
きましては、また先ほど別の機会にといったところもございますので、1点目については、
こちらをご覧になっていただきたいというふうに思います。

2点目につきましては、単年度主義の原則についてでございます。こちら、行政として
はそれをしっかりとやっていくと。一方で、今ご指摘いただきましたが、複数年度の考
え方、区としても、予算案の概要の段階で、私も予算案の段階で、私たちとしては中期の
見通しをまたお示ししていくといったところでございます。やはり施設整備等、区として
必要な支出といったものは今後も出てくるというふうに認識をしてございます。また、そ
れぞれの世代ごとに、必要なニーズに合わせた施策を打っていかないといけないという
のも実態でございます。そうした状況を踏まえまして、どういった形で適切に今後考えてい

くのかというのは、また中期見通しと併せてご案内をさせていただければというふうに思います。

○はやお議員 今後について、これ、必ず問題になってくるのが世代間格差になっちゃうんですよ。税金の使い方がどういうところになっていくのか。結局は、例えば、お子さんのいらっしゃる方々が税金を納めたのに、私はそんなことをやってもらいたくないんですよと言われたときの説明ができる体制で。そのために、本来であれば、行政計画である中期計画があるんです。そして、また、複数年といいながらも、前回もいろいろ様々ありましたので、今度、予算のときに、そこが分かりやすく明快に答えていただけるようお願いいたします。

○前田財政課長 区といたしまして、今回、来年度予算を編成するに当たりましては、そうした世代間のところも考慮して検討してございますが、また別の機会で分かりやすくというところのご指摘を賜ってございます。適切にご説明できるように進めさせていただきたいというふうに思います。

○秋谷議長 小林議員。

○小林議員 予算の中で、この916億、一般会計で増えておりますけど、これは2割、大体増えてますよね。これ、四番町の複合施設とか錦町三丁目の福祉施設が最終年度なんで、そこで支出されるのはいつの事業でもそうだと思うんです。それにしても、それは91億ぐらいなんで、残り72億はほかのことに使っているんだけど、今回の目玉で言うと、物価高騰対策で皆さんにあげちゃう、現金給付にしちゃうというのが35億あるわけでしょう。そうすると、三十何億。（発言する者あり）35億でしょう。当初の（「そんなにあるの」と呼ぶ者あり）35億でしょう。まあ、いいや。あげちゃうのは35。という、実際やっているのは、増えたのは37億ぐらいですよ、本来の実質でいうと。そうすると、先ほどの事業数が805事業になった中で、新規事業は幾つあるのか。新規事業は幾つあるのか。もしくは、これで言うと、事業数の中で減らしているということは、事業自体が要するにグレードアップしてきている、新規事業以外はグレードアップしてきていると考えるのか。全体的にね。と思うのか。

あと、びっくりしちゃうのは、区民税が299億円ですよ、今年度。今、今回の予算というのは、一般会計レベルで言うと、1人132万円ですよ。区民税をもらうのが幾らだ、33万1,000円ぐらいか、1人、単純計算にして。4人家族ですと、区から今年の1年、予算ですってもらうのは528億なんですよ。納める税金は132万円なんですよ。だから、すっごいもらっているですよ。という実感を感じられるような予算は、これ、お金をあげるという給付ということで返しているの。その辺というのはどう整理しているのか。要するに、事業の充実でみんなに返しているのか。その辺はどう考えてやっているのか、お答えいただきたい。

○前田財政課長 まず、1点目の事業数の関係もあるんですが、恐らく資料02の4ページでご説明いただいたというふうに認識してございますが、来年度、当初予算で35億ということで、物価高騰を上げさせていただいてございますが、特に大きなものとしてはインフレスライドの対応といったところでございます。どうしてもなかなか物価全体、資材高騰と人件費高騰、ご案内のとおり、今ございますので、そうした状況に対応してまいるといったものでございます。

新規事業数のご質問も頂いてございますが、37ございます。また、個々個別についてのそれが充實的なところなのかといったところはまた別の場での審査というふうに認識をさせていただきますけれども、いずれにいたしましても、区として必要なサービス、ニーズに合わせたサービスを的確にお届けよう、来年度、予算を編成させていただいているといったところでございます。

○秋谷議長 はい。

ほか、よろしいでしょうか。

○白川議員 資料2の41ページ、新規施設・公園整備に関する取組みについてですが、これ、案件の最小限の情報しかないんですが、これまでの建築費の移行を見ると、どうも加速度的に、遅れば遅れるほど上がっていくと。そうすると、福祉に力を入れるというときに、これは工事を遅らせないということが一番大事になってくると。見込み額がどんどん膨らんでいくのはもう間違いないというところなんです、そこで、目標の設定として、工事を遅らせないというのをもう今後は第一にすべきでないかという気がするんですが、いかがでしょうか。

○前田財政課長 ただいまご指摘いただきましたとおり、この建築に係る費用、インフレスライド等ありますように、増えてきてございます。それこそ、契約の工事関係で不調が起きたりと、そういった状況もございます。今、ただいま頂きましたご指摘を踏まえまして、どういったことが区として取り入れるのかというところは検討させていただきたいというふうに思います。

○秋谷議長 はい。

ほかはありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）ふかみ議員。

○ふかみ議員 いいですか。

○秋谷議長 あ、どうぞ。

○ふかみ議員 物価高騰対策について、お伺いさせていただければと思います。

非常に重要な施策だと思っております。物価高騰対策と聞きますと、家計における固定費をどう抑えていくかというのが基本的な考え方だと思うんですけども、内容によっては、家計の固定費の圧縮というよりは特定の属性の人たちへの福祉といいますか、そういう費用にも見受けられる部分もあると思いますが、ここに関してお考えがありましたらお聞かせください。

○前田財政課長 まず、家計費の対応といったところに関しましては、昨年12月に臨時会にご協力いただきまして、全区民に1万円分のギフトカードということで広く対応させていただくといった形でございます。また、そうした物価高騰の影響を受けやすい世代にといったところでは、今回、私立の小中も含めてですけども、学生も含めてでございますけれども、子育て世代のほうにも充てさせていただいているといった状況でございます。そうした包括的な、全体的な支援と、重点的な支援といったところを分けさせて検討させていただいているといったところでございます。

今後につきましても、やはり物価高騰は何かありましたら本当に生活に関わるところでございますので、区といたしましては、そうしたニーズとかを把握しながら、何ができるのか、何が公平性を保てるのかといったところも踏まえて検討させていただきたいというふうに考えてございます。

○ふかみ議員 賃上げが実質的に行われるまでの緊急の対策、ぜひ頑張っていたきたいというところで、賃金上がることへの弾力性がない世代の方たちもいらっしやると思うので、ぜひ幅広く考えていただければと思います。

○前田財政課長 幅広く検討するようにということで承らせていただければと思います。

○秋谷議長 はい。小枝議員。

○小枝議員 すみません。最初に公費がかさむという話も意見が出ていましたけれども、私が硬直化した判断をしないでもらいたい、そのためには選ばれた首長が出ていって調整するということもいとわないでもらいたいということをお願い申し上げたというのは、今日は個別のところをやる時間ではありませんのでいたしませんけれども、やはり意思形成過程がとても大事で、この予算に組んでしまった、皆さんが賛成したじゃないか、だから、このまま進めるんだということが物事を非常に遅らせている場合があると思っているんですね。今回の予算の中にも、これではつぶさにまだ見ていませんが、非常に段階論としてちゃんと積み上げていないという、意思形成過程が十分でない、検証がされていない予算というのも散見されてくるわけなんですけれども、そういうところでは、ぜひ、決まったものだからもうこれしかないんだということではなくて、十分な検証を、現在で言えば、例えば旧永田町小学校であるとか、ああいうふうなことに関しては、やっぱりちゃんとエビデンスを取って判断をしていくための手続を重視してもらいたいということなんです。今回の予算に組まれているから、もうこれしかないんだということが職員の疲弊を招いたり、やりがいを喪失するような場合もあり得るので、一つの事例として申し上げましたけれども、予算としてはこう組んでいるが区民のためにこれが最善だと言えば、これはやりますよというような柔軟性ということも、今の時代はやっぱり必要なんじゃないかというふうに私は思うんですね。そうでないと、ガチンコになってしまって、今、選挙で二分しちゃう、これだけはやっぱりやめてもらいたいなと。区民を二分したり、家族を二分したりするようなことはやめてもらいたい。そこのところは政治の調整力しかないんじゃないか。そして、それは行政が忖度してやってしまうと硬直するので、時間がかかってということの繰り返しは、もう経験上、十分あると思うので、ぜひ、そこのところを意図して、そういう姿勢でやってもらいたいという意味で申し上げました。いかがでしょうか。

○前田財政課長 審査の進め方については、私、執行機関のほうからなかなかご答弁するのが難しいところがございますけれども、私どもとして、予算編成に当たりましては、様々に検討を重ねてきているところでございます。この後説明する機会の場合には、適切にそれぞれの事業についてご案内をさせていただくものと、そのように認識をさせていただきます。

○秋谷議長 はい。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○秋谷議長 はい。以上をもちまして、本日の全員協議会を閉会いたします。ご協力、ありがとうございました。

午後2時11分閉会